

都道府県アーチェリー協会（連盟）御中

（公社）全日本アーチェリー連盟
会長 世耕 弘成
（公印省略）

2024年度 1級公認審判員新規認定講習会・試験の開催について

下記の要領にて、（公社）全日本アーチェリー連盟 1級公認審判員新規認定講習会・試験を開催します。

記

1. 日 時 2025年 2月 2日（日） 10時00分 ～ 16時00分
2. 会 場 BIZ新宿(新宿区立産業会館)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-8-2
TEL 03-3344-3011
※ 会場までのアクセス
https://www.city.shinjuku.lg.jp/jigyofile04_03_00005.html
3. 参加資格 （公社）全日本アーチェリー連盟2級公認審判員として5年以上の経験を有する者。
（公認審判員認定番号が「20XXXX」より前の者）
申込時70歳未満が望ましい。（1級公認審判員として実際に活動できる者）
加盟団体が申請し、地区審判委員会が推薦する者であること。
その他詳細については、公認審判員規程を参照のこと。
4. 持 参 物 全日本アーチェリー連盟競技規則（2024～2025年版）、筆記用具、小論文、
返信用封筒（切手を貼付）
5. 受 験 料 3,000円（加盟団体が申し込み時にまとめて納入すること）
<振り込み先>
みずほ銀行 渋谷支店（210）普通預金 79992
口 座 名：全日本アーチェリー連盟
6. 受験申込 受験希望者は、受験料を添えて加盟団体に申し込むこと。加盟団体は、別紙参加
申込書にて、2025年 1月14日（火）までに、文書交換システムを通じて、本連盟
事務局宛に申し込むこと。
申 込 先：（公社）全日本アーチェリー連盟 文書交換システム
文書種別（連盟宛）：競技会関係（ドロップダウンリストより選択）
文 書 名：「1級公認審判員新規認定講習会申し込み」と記載。

7. 注意
- 1)合格者は実務研修後に、正式に公認1級審判員の認定となる。
事前研修修了者は1級審判員の資格を認定される。
 - 2)テスト内容は広範囲な知識を有し、且つ実務経験も豊富であることを確認するものである。
 - 3)出題範囲は、全日本アーチェリー連盟競技規則（2024～2025年版）に記載されている事項およびその応用とする。
 - 4)小論文は前もって作成し、当日持参して受付時に提出すること。
当日会場で小論文を作成する時間はないので注意すること。
『小論文課題』
課題①：今後1級審判員として活動していくにあたり、競技委員長、DOS、審判長それぞれの役職としての心構えについて、2級審判員の経験を踏まえてあなたの考えを述べなさい。
課題②：所属する加盟団体における1級審判員としての役割、貢献できる事、推進したいことについて述べなさい。
- ※原則として、Word等のソフトを使用して、A4用紙に横書き。フォントは10.5Pt以上を使用すること。最初に表題を書き、加盟団体名、氏名を必ず記入すること。
枚数の制限はなし。

8. 認定会タイムテーブル

10:00	～	10:30	受付（小論文を受付時に提出）
10:30	～	11:30	講習会
11:30	～	12:30	昼食休憩
12:30	～	15:00	テスト（競技規則持ち込み可能）
15:15	～	15:45	テストの解答と解説（解答例の配付）
15:45	～	16:00	実務研修等について

9. その他

- 1) 休憩後、テストの開始に遅刻した者は、残りの時間内にテストを終了しなければならない。
なお、不参加の場合でも費用は返却しない。
- 2) 受験者の費用は負担しない。宿泊を希望する者は各自で手配すること。
- 3) 可否の判定は後日受験者に通知する。返信用の封筒（長形3号以上の大きさ：切手貼付）に受験者の住所を記入の上、当日持参し受付時に提出のこと。
- 4) 返信用封筒に入れて受験者に返送するもの
 - ・合格判定（テスト）の通知書
 - ・総評（答案用紙は返却しない）
 - ・新規認定申請書（合格者のみ）
 - ・申請手続きの説明書（合格者のみ）
 - ・実務研修申請書（合格者のみ）

10. 試験に関する特別措置について

身体的理由などにより、通常の筆記試験を実施することが難しい場合、事前の申請に基づき、主催者側にて試験用パソコンを準備する。

11. 実務研修について

テスト合格者は、次年度開催の連盟主催主要競技会での実務研修が義務付けられる。
実務研修終了後に正式に公認1級審判員の資格取得となる。

実務研修する競技会は、各自が希望する競技会を指定（複数）すること。研修競技会は後日通知する。

実務研修に関わる諸費用（交通費等）は各自負担となる（競技会の前泊は各自負担、競技会当日の宿泊費は本連盟負担）。

本申請の締切は各競技会開催の2ヶ月前までとする。

実務研修は「①事前」「②事後」のいずれかで研修すること。

- 1) 事前研修：認定会受講予定年（度）までに修了する。
- 2) 事後研修：基本的には翌年度中に研修を修了する。

※ 前後1年以内であれば猶予を認める。受験後2年（度）以内に研修を修了するものとする。
2025年度開催予定の連盟主催競技会名および日程（実務研修対象競技会）は下記の通り。
（開催日程、開催場所は予定であるため連盟HPで再度確認すること）

1) ターゲット

- ① 全日本社会人ターゲット選手権 : 6/28～29（東京都江東区：夢の島公園）
- ② 全日本小中学生大会 : 9/20～21（静岡県掛川市：つま恋リゾート彩の郷）
- ③ 全日本ターゲット選手権 : 10/24～26（東京都江東区：夢の島公園）
- ④ 全日本室内選手権大会 : 26/2/14～15（北海道帯広市：よつ葉アリーナ十勝）

2) フィールド

- ① 全日本フィールド選手権 : 5/16～18（滋賀県米原市：グランスノー奥伊吹）
- ② 全日本社会人フィールド選手権※ : 9/27～28（岩手県八幡平市：いこいの村岩手）
※東北地区の方のみを対象とする

以上